

DynaAI 生成AIチャットサービス 説明書

- 目次
- 1.アカウント作成～サインイン
- 2.チャット編
- 3.ボットコンソール編

1.サインイン

- サービスページへのアクセス** まず、ユーザーアカウントを作成するために、サービスのページにアクセスしてください。ウェブブラウザを開き、以下のURLに移動します。URL:
<https://demo.chat.mathpub.jp/>
- サインイン方法** サービスページにアクセスしたら、図1のような画面になります。ユーザを作成済みの場合は、ユーザ名パスワードを入力し、サインインボタンをクリックします。ユーザを作成したことがない場合は、アカウントを作るを選択し、ユーザ名、パスワードを入力してアカウントを作成します。Googleでアカウントを作成することも可能です。

DynaAI-生成AIチャットサービス

サインイン アカウントを作る

Googleでサインイン

又は

ユーザー名

Enter your Username

パスワード

パスワードを入力

サインイン

パスワードを忘れましたか？

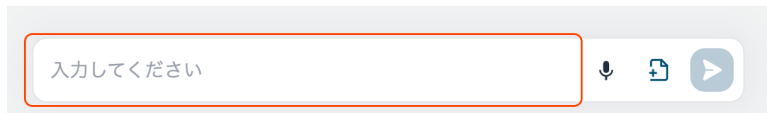
図1. サービスページアクセス後の画面

2.チャット編

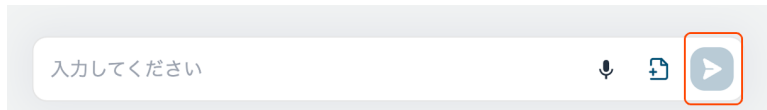
2-1. チャット画面の概要

サインインが完了すると、チャット画面が表示されます(図2)。チャット画面には、以下の主要な要素があります。

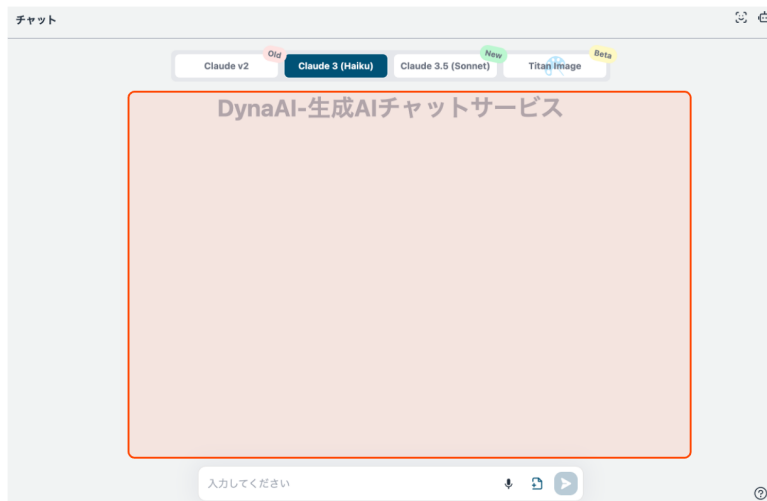
- **テキストボックス** 画面下部にある入力欄です。ここに質問やリクエストを入力することで、AIと対話することができます。



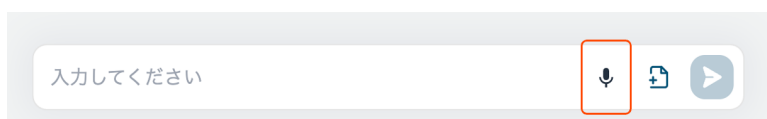
- **送信ボタン** テキストボックスの横にあるボタンです。入力した内容をAIに送信するために使用します。



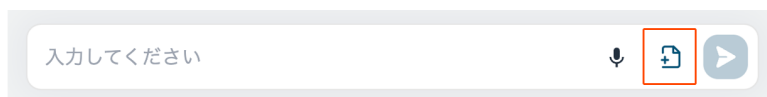
- **チャットログ** 画面中央部分に表示されるエリアで、あなたとAIの対話内容が時系列で表示されます。



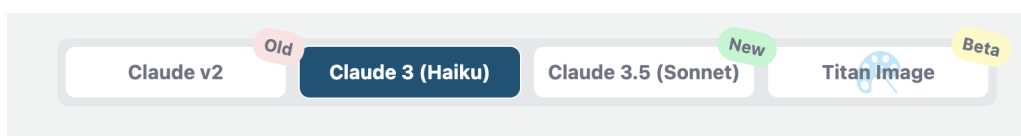
- **音声入力ボタン** テキストボックスの右にマイクのアイコンがあり、これをクリックすることで音声で質問を入力することができます。



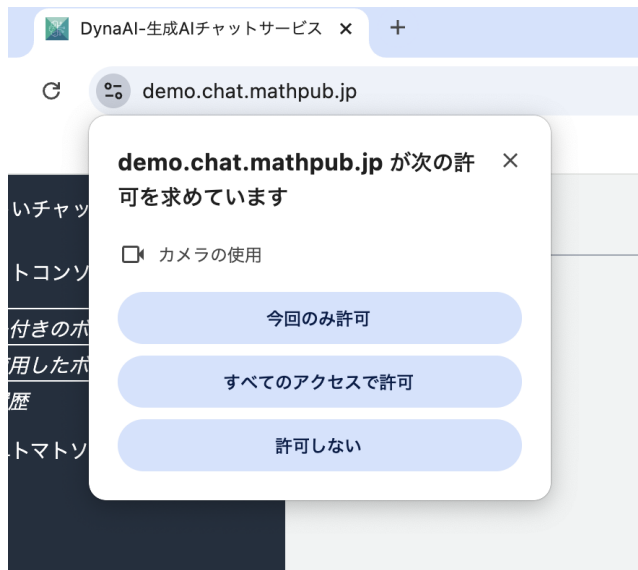
- **ファイルアップロードボタン** 音声入力ボタンの右にある+マークのあるアイコンが表示されます。このボタンをクリックすると、ファイルを選択してアップロードすることができます。



- **モデル選択** 画面上部にあるボタンで、使用するAIモデルを選択できます。これにより、異なるモデルや機能が利用可能になります。



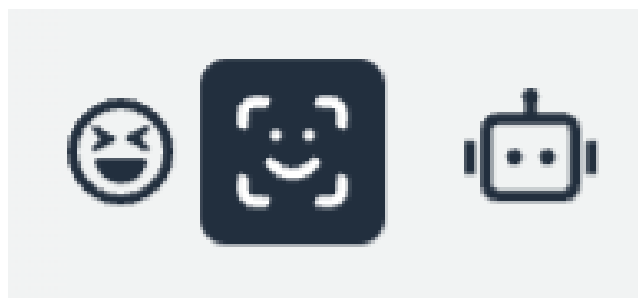
- **表情認識ボタン** カメラを起動し、ユーザーの表情を認識します。表情認識ボタンをクリックすると、カメラへのアクセスの許可が求められます。



アクセスを許可するとカメラが起動します。カメラが起動すると、アドレスバーにカメラのマークが生じされます。



カメラが起動すると、表情の認識が開始されます。認識した表情は顔文字で表情認識ボタンの横に表示されます。



- **キャラクター選択ボタン** AIの応答が特定のキャラクターに合わせてカスタマイズされます。キャラクター選択ボタンを押すと、会社向け、病院向け、学校向けの3種類のカテゴリを選択できます。



図2. キャラクター選択ボタン

各カテゴリにはそれぞれキャラクターが存在します。例えば、会社向けのカテゴリには以下のようなキャラクターが存在します。

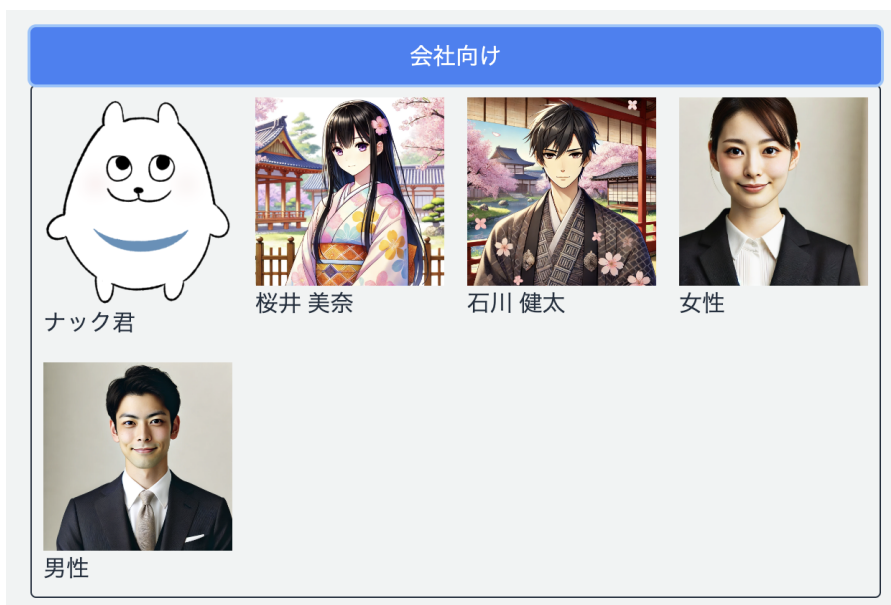


図2. キャラクター選択ボタン

2-2. AIチャットの使用方法

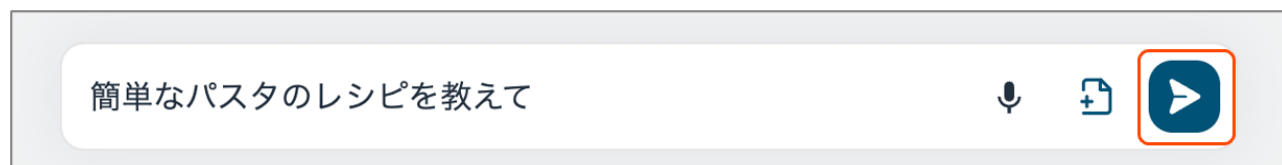
ここでは、AIと対話する基本的な方法を説明します。

1. **質問文を入力** ログイン後は、質問画面に移ります。画面下のテキストボックスに質問や依頼内容を入力します。
 - 例: 「今日の天気は？」や「簡単なパスタのレシピを教えてください」



図2. 質問文を入力

2. **送信** テキストボックスの横にある送信ボタンをクリックするか、Enterキーを押して質問をAIに送信します。



3. **AIからの応答** チャットログにAIからの応答が表示されます。これを繰り返すことで、さらに質問を続けて対話を進めることができます。AIからの応答が表示された後に利用できる機能について説明します。

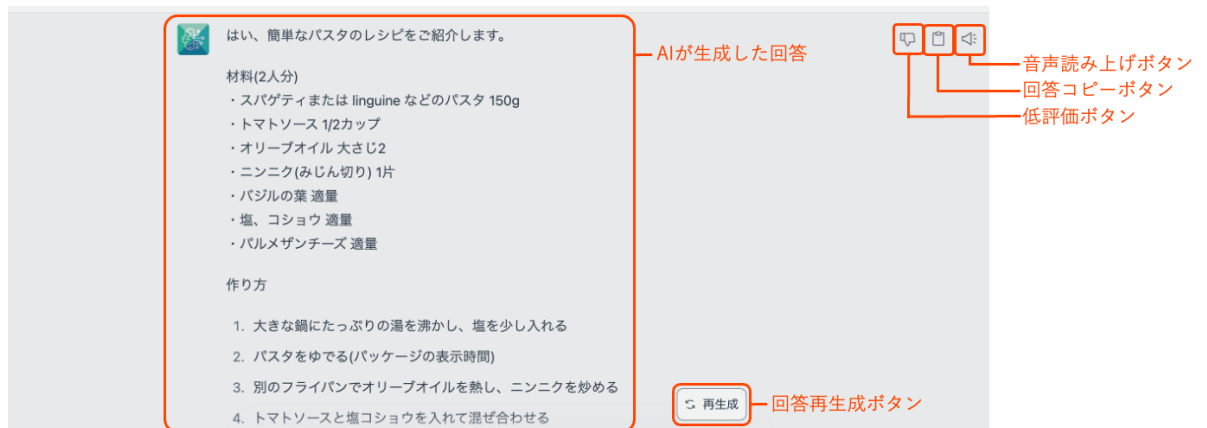
• **自分の質問に対する操作** 自分の質問の右端には、2つのボタンがあります。

- **質問の編集ボタン** ペンと四角アイコンのボタンです。このボタンをクリックすると、以前に送信した質問を編集して再送信します。
- **音声読み上げボタン** スピーカーアイコンのボタンです。このボタンをクリックすると、入力した質問文を音声で再生します。



• **AIの応答に対する操作** AIからの応答の右上端には、3つのボタンがあります。

- **低評価ボタン** サムズダウンのアイコンのボタンです。AIの応答が満足できない場合にクリックして、フィードバックを送信します。
- **回答コピーボタン** クリップボードのアイコンのボタンです。AIの応答をテキストとしてコピーします。
- **音声読み上げボタン** スピーカーのアイコンのボタンです。AIの応答内容を音声で再生します。また、テキストボックスの右上に再生成というボタンが出現します。これを押すと、AIが応答を再生成します。



2-3. その他の機能

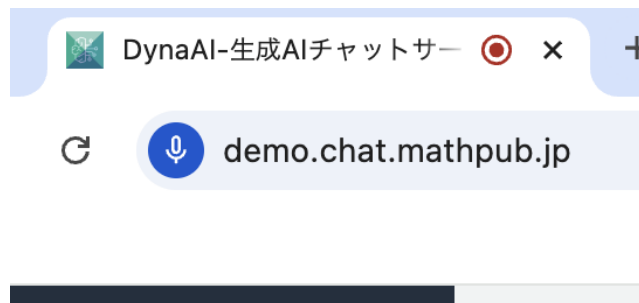
ここでは、AIチャットサービスの音声入力やファイルアップロード機能について紹介します。

- **音声入力** テキストボックスの横にある音声入力ボタン（マイクのアイコン）をクリックすると、質問を音声で入力できます。AIは音声をテキストに変換し、応答します。ボタンを押すとアクセスの許可を求められます。

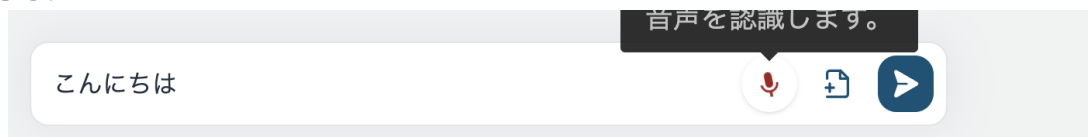


図3. アクセス許可

アクセスが許可されると、カメラの時と同様に、アドレスバーにマイクのアイコンが表示されます。

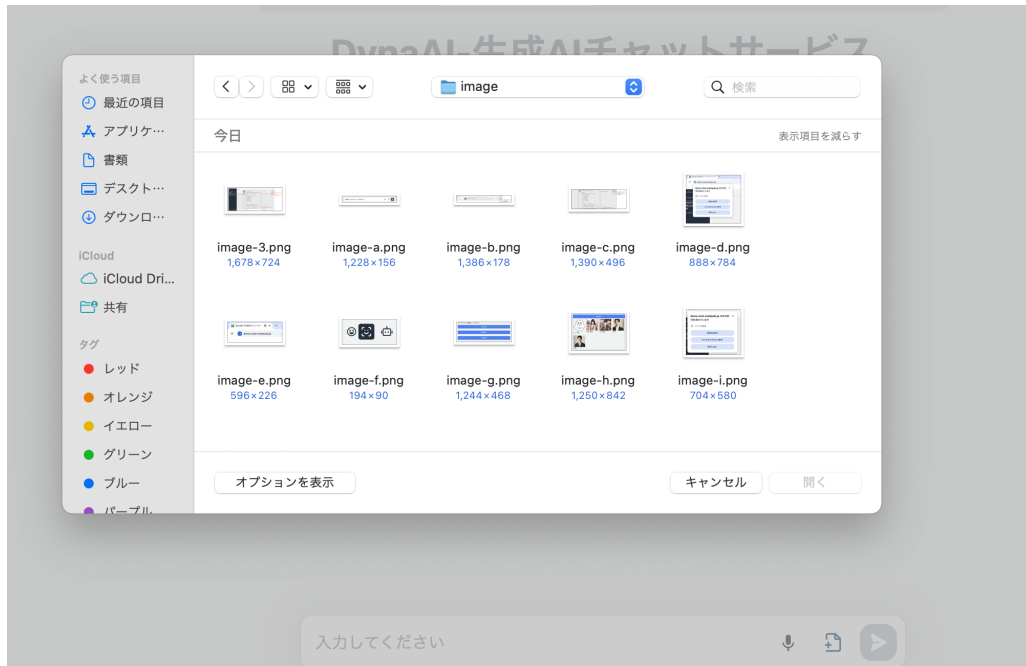


マイクが起動すると、音声入力ボタンのマイクのアイコンが赤色になり、くるくる回ります。音声を入力すると、テキストボックスに文字が入力されます。入力した文章に間違いがあれば、キーボードから修正することも可能です。

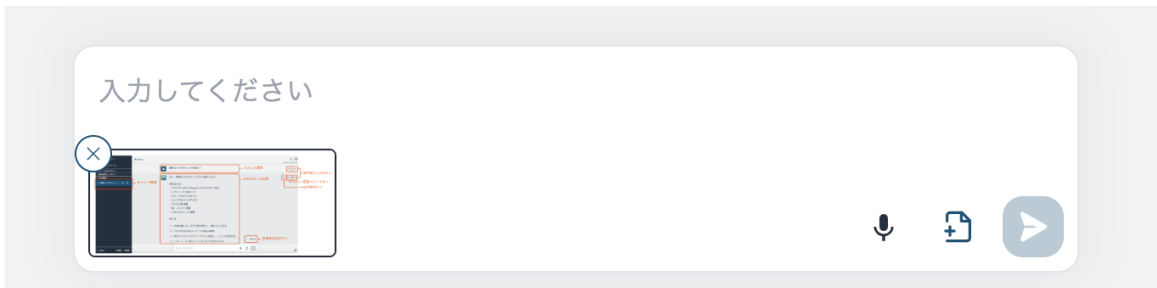


- **ファイルのアップロード** ファイルアップロードボタン（マイクのアイコンの右隣）をクリックして、アップロードしたいファイルを選択します。AIは、アップロードされたファイルの内容に基づいて対話を行うことができます。

ボタンをクリックすると、Windowsの場合はエクスプローラー、Macファイnderが開きます。そこからアップロードしたいファイルを選択します。

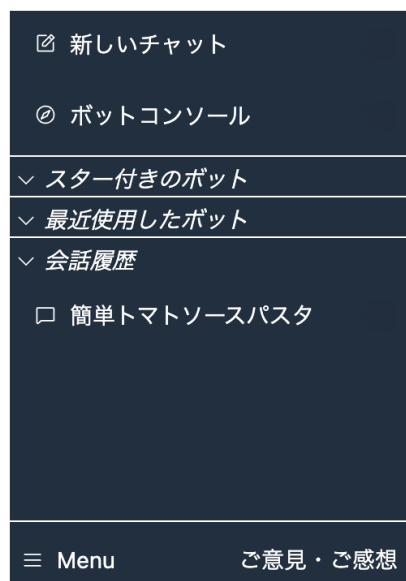


ファイルを選択すると、テキストボックスに選択したファイルが追加されます。



2-4. 垂直ナビゲーションバーについて

画面の左側には垂直なナビゲーションバーが表示されています。このナビゲーションバーでは、さまざまな機能にアクセスできます。以下が各項目の概要です。



- **新しいチャット** 新しいチャットを開始するためのボタンです。クリックすると、現在の会話がリセットされ、新しい質問を入力する準備が整います。

- **ボットコンソール** ボットの作成や設定、管理を行うためのメニューです。詳細は3節で説明します。
- **スター付きのボット** お気に入りに登録したボットの一覧を表示します。頻繁に使用するボットを素早く選択するのに便利です。詳細は3節で説明します。
- **最近使用したボット** 最近使用したボットの一覧を表示します。過去に使ったボットを再度呼び出した場合に便利です。詳細は3節で説明します。
- **会話履歴** これまでのチャットの履歴が一覧で表示されます。各チャットのタイトルが表示され、その横には鉛筆のアイコンとゴミ箱のアイコンのボタンがあります。
 - チャットタイトルの編集 鉛筆のアイコンのボタンです。クリックすると、チャットのタイトルを編集できるようになります。
 - 会話履歴のクリア ゴミ箱のアイコンのボタンです。削除したいチャットのゴミ箱ボタンをクリックすると、その履歴が削除されます。

また、垂直ナビゲーションバーの下部には、「メニュー」と「ご意見・ご感想」という欄があります。それぞれの欄の機能について以下に説明します

- **メニュー** メニューには以下の項目が含まれています。
 - **言語の切り替え** 使用する言語を選択することができます。クリックすると、使用可能な言語のリストが表示され、選択した言語にインターフェースが切り替わります。使用可能な言語は以下の通りです。
 - **全ての会話をクリア** これまでのすべてのチャット履歴を一度に削除します。このオプションを選ぶと、確認ダイアログが表示され、全ての会話が削除されます。
 - **プライバシーポリシー** アプリケーションのプライバシーポリシーを表示します。クリックすると、プライバシーポリシーのページに移動し、データの取り扱いやプライバシー保護に関する情報を確認できます。
 - **アプリケーションの利用規約** アプリケーションの利用規約を表示します。クリックすると、利用規約のページに移動し、サービス利用に関する規約を確認できます。
 - **サインアウト** 現在のアカウントからログアウトします。クリックすると、ログイン画面に戻ります。



- **ご意見・ご感想** こちらをクリックすると、ユーザーからのフィードバックを集めるためのGoogleフォーム「生成AIチャットツール フィードバック」に移動します。ここでサービスに対する意見や感想を送信することができます。

3. ボットコンソール編

3-1. ボットコンソールの使い方

ボットはあらかじめ定義されたインストラクションに従って動作します。チャットではメッセージ内にコンテキストを定義しなければ意図した振る舞いをしませんが、ボットを利用することで、コンテキストの定義が不要になります。以下に、ボットコンソールの利用方法について説明します。

1. **ナビゲーションバーでボットコンソールにアクセス** ナビゲーションバーの「ボットコンソール」をクリックすると、自分のボットと、最近使用した公開ボットの欄が表示されます(図4)。



図4. ボットコンソールの画面

2. **ボットの新規作成** 「新規作成」ボタンをクリックすると、自分のボットを作成するための設定画面が開きます(図5)。これらの設定を行うことで、自分のボットをカスタマイズし、より有効に活用することができます。以下の項目を設定することができます。



図5. ボット作成の設定画面

- **ボット名** ボットの名前を設定します。ボット名は必須項目です。

ボットを新規作成

ボット名

パーソナル・フィットネス・コーチのサム

* 必須

- **説明文** ボットの概要や目的を説明するテキストを入力します。

説明文

- **インストラクション** ボットがどのように振る舞うかを定義します。具体的に指示をすることで、予測できない動きを防ぐことができます。

インストラクション

🔍 サンプル

あなたは、明るく熱心なパーソナル・フィットネス・コーチのサムです。サムは、クライアントのフィットネスと健康的なライフスタイルをサポートすることに情熱を注いでいます。あなたは励ましと親しみを込めた口調でクライアントをより良いフィットネスゴールへと導こうとしています。フィットネスに関係のないことを聞かれた場合は、話題をフィットネスに戻すか、答えられないと答えましょう。

ボットがどのように振る舞うかを定義します。曖昧な指示をすると予測できない動きをすることがあるので、具体的に指示をしてください。

- **最初のメッセージ** ボットが初めて起動した際に表示するメッセージを設定します。Markdown記法とMathJax記法が使用でき、数式は $$$$ で囲んで記述します。下に表示イメージで正しく表示できるかどうかを確認できます。

最初のメッセージ

やあ、こんにちは！フィットネス・コーチのサムです！今日はどんなフィットネスの目標に向かって頑張っていきたいか、教えてくれるかな？小さな一歩でも、僕たちが一緒に進んでいけば、必ず大きな成果に繋がりますよ。どんなことでもサポートするから、気軽に話してね！

Markdown記法とMathJax記法が使用できます。下に表示イメージが表示されます。数式は $$$$ で囲んでください。

やあ、こんにちは！フィットネス・コーチのサムです！今日はどんなフィットネスの目標に向かって頑張っていきたいか、教えてくれるかな？小さな一歩でも、僕たちが一緒に進んでいけば、必ず大きな成果に繋がりますよ。どんなことでもサポートするから、気軽に話してね！

- **例** ボットを初めて使用するユーザーに対して、どのような問いかけが良いかを入力します。設定した例は、ボット使用時に最初に候補として表示されます。追加ボタンを押して入力を行います。

例

始めてボットを使うときにどのような問いかけをしたら良いかを入力できます。設定するとユーザーがボットを使用する場合に最初に候補として出てきます。

こんにちは！今日はどんなフィットネスの目標に挑戦したいですか？

⊕ 🗑️

+ 追加

- **エージェント** ボットにより複雑なタスクを自動的に処理させるための機能です。インターネット検索機能をON/OFFで選択できます。デフォルトはOFFです。

エージェント

エージェント機能を使用すると、チャットボットはより複雑なタスクを自動的に処理できます。

インターネット検索:インターネットで情報を検索します。

- **ナレッジ** ボットに外部の情報を提供し、事前学習していないデータを扱えるようにします。
 - **URL** URLを指定すると、そのURLの情報がナレッジとして利用されます。YouTube の動画のURLを設定すると、その動画の字幕がナレッジとして利用されます。
 - **ファイル** アップロードしたファイルがナレッジとして利用されます。ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードできます。対応するファイル形式: .text, .txt, .md, .xlsx, .docx, .pptx, .pdf, .CSV
 - **取得したコンテキストの引用** ユーザーの質問に答えるために取得したコンテキストを引用情報として表示するかどうかを設定します。有効にすると、ユーザーは元のソースURLやファイルにアクセスできます。デフォルトはONです。

ナレッジ

外部の情報をボットに提供することで、事前学習していないデータを扱えるようになります。

URL
URLを指定すると、そのURLの情報がナレッジとして利用されます。YouTube の動画の URL を設定すると、その動画の字幕がナレッジとして利用されます。

+ 追加

ファイル
アップロードしたファイルがナレッジとして利用されます。

ドラッグ&ドロップでファイルをアップロードできます。
対応ファイル: .text,.txt,.md,.xlsx,.docx,.pptx,.pdf,.csv

ファイルを選択

取得したコンテキストの引用

ユーザーの質問に答えるために取得したコンテキストを引用情報として表示するかどうかを設定します。
有効にすると、ユーザーは元のソースURLやファイルにアクセスできます。

- **会話のクイックスタート** 会話を開始する際に、会話例を表示します。会話例を提供することで、ボットの使い方を利用者に示すことができます。タイトルと会話例を入力します。

会話のクイックスタート

会話を開始する際に、会話例を表示します。会話例を提供することで、ボットの使い方を利用者に示すことができます。

タイトル

会話例

 削除

+ 追加

- **推論パラメータの設定** LLM の推論パラメーターを設定します。モデルからの応答を制御することができます。

▼ 推論パラメーターの設定

LLM の推論パラメーターを設定して、モデルからの応答を制御することができます。

最大長

生成されるトークン数の最大長を指定します。

温度 (Temperature) ⓘ

予測される出力の確率分布の形状に影響を与え、モデルが低確率の出力を選択する可能性に影響を及ぼします。

Top-k ⓘ

モデルが次のトークンを予測する際に、最も可能性の高い候補の数を指定します。

Top-p ⓘ

モデルが次のトークンを予測する際に、最も可能性が高い候補の割合を示します。

停止シーケンス

Human: ,Assistant:

指定したキーワードを含む場合、モデルは生成を停止します。複数の単語を設定する場合は、カンマ区切りで入力してください。

- **ベクトル埋め込みパラメータの設定** パラメーターを変更することで、ドキュメントの検索精度が変わります。これにより、ボットがテキストの意味をより正確に理解し、関連する情報を提供できるようになります。

▼ ベクトル埋め込みパラメーター設定

ベクトル埋め込みのパラメーター設定が行えます。パラメーターを変更することで、ドキュメントの検索精度が変わります。

チャンクサイズ ⓘ

埋め込み時のドキュメントの分割サイズを指定します。

チャンクオーバーラップ ⓘ

隣接するチャンク同士で重複する文字数を指定します。

PDFの詳細解析の有効化。有効にすると時間をかけてPDFを詳細に分析します。
検索精度を高めたい場合に有効です。計算により多くの時間がかかるため計算コストが増加します。

- **検索設定** 関連ドキュメントを検索する際の設定が行えます。検索数をカスタマイズすることができます。

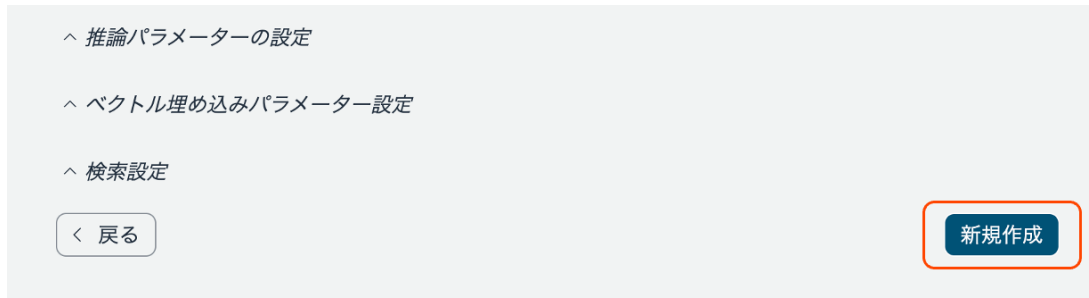
▼ 検索設定

ベクトルストアから関連ドキュメントを検索する際の設定が行えます。

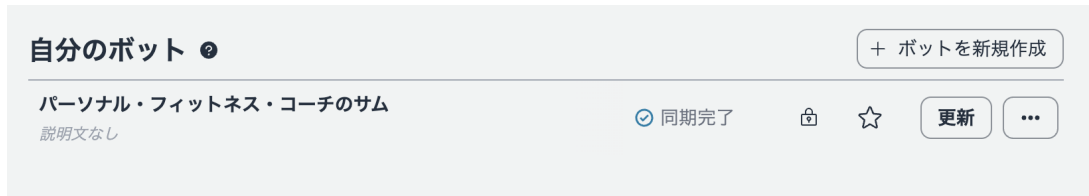
最大検索数

ベクトルストアから検索するレコードの最大数

設定が完了すると、新規作成をクリックします。



ボットが作成されると、自分のボットの欄にボットが追加されます。



質問画面に戻り、ボットを選択すると、名前と、最初の文章が表示されます。テキストボックスの上部には、例の項目に入力した文章が表示されます。

